

核兵器による威嚇・使用につながるあらゆる行動をやめ 核兵器の全面禁止・廃絶に踏み出せ

国際法と国連憲章にそった平和的解決を

ロシアによるウクライナ侵略から1年が経過し、ロシア軍による無法な攻撃による深刻な被害、核使用の威嚇が続いています。ロシア軍は直ちに撤退すべきです。

北東アジアでも事態は重大です。中国の軍拡や力による現状変更、北朝鮮の核・ミサイル開発、そして、アメリカや日本など同盟国の軍事力強化による対応、「核抑止力」固執の政策が緊張と危険を高めています。

すべての当事国は、軍事ブロックと軍拡、核の威嚇の危険な対応をやめ、国連憲章を遵守し、国際法に基づく紛争の平和的な解決をめざすべきです。また、これまでのNPT（核不拡散条約）再検討会議で達成された核兵器廃絶の合意を誠実に履行すべきです。

日本は核兵器禁止条約に率先して参加を

核兵器のない世界に向かって、唯一の被爆国日本を、核兵器禁止条約を批准し、核兵器廃絶をリードする国にしなければなりません。

いま岸田政権は、核兵器禁止条約に背を向け続ける一方で「戦争国家」の道に突き進もうとしています。「安保関連3文書」による軍備の大増強、「反撃能力（敵基地攻撃能力）」の保有のために、憲法をじゅうりんして、5年間で43兆円もの軍事費を投入しようとしています。日本政府がやるべきことは、憲法9条にもとづく平和外交で戦争を起こさず、核兵器禁止条約に被爆国として率先して参加し、核兵器のない世界の実現のために力を合わせることです。

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。(2023・3・6)

世界中のこども
みんなに平和と
しあわせを



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館

ちひろ美術館は「世界中のこどもみんなに平和としあわせを」と願って、戦争を繰り返さない平和な世界の実現のために活動しています。また、ちひろ国際の活動を続け、大人も子どももすべてが平和な世界を築くために活動しています。世界の平和な世界を実現するために活動しています。ちひろ美術館は、日本国憲法も大切に守り、世界の活動を通じて、日本と世界の子どもたちに平和としあわせを伝える活動を続けています。

「日本政府に核兵器禁止
条約の署名・批准を求める
署名」ページQRコード



国連認証NGO：原水爆禁止日本協議会（日本原水協）
〒113-8464 東京都文京区湯島2丁目4-4
TEL 03-5842-6031 HP：<http://www.antiatom.org>
E-mail antiatom55@hotmail.com